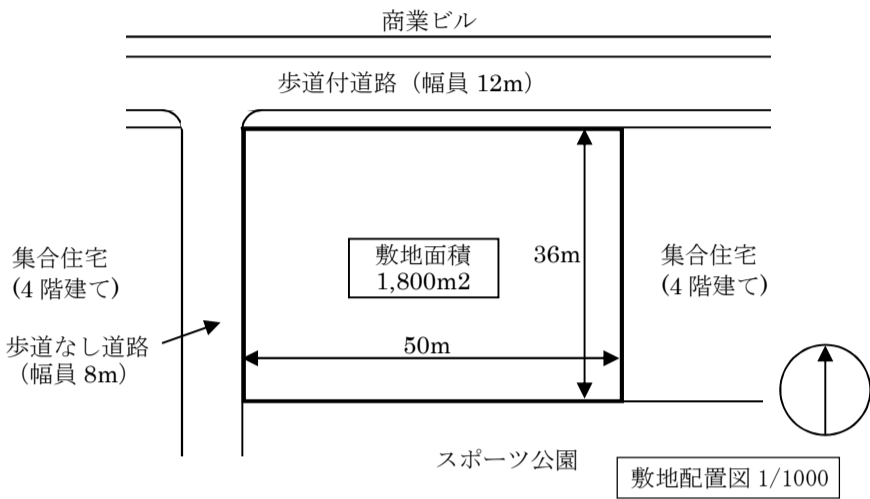


I. 設計条件

この課題は、ある小都市の市街地のスポーツ公園の北側の敷地に健康づくりのためのスポーツ施設を計画するものである。本施設は、温水プールと共に健康増進に関わる機能を有する諸室を設けるものとし、積極的にパッシブデザインを取り入れた計画とする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。スポーツ公園からのアプローチに配慮する。
- 敷地は第二種住居地域及び準防火地域にしている。また、建ぺい率の限度は80%（角地加算含む）、容積率の限度は300%である。
- 地質は良好で杭打ち等は不要である。
- 日影及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
地上3階建ての建物とし、構造形式は自由とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、2,800m²以上、3,200m²以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。なおピロティ等の屋内的用途に供するものについては床面積に含むものとする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積	
スポーツ部門	屋内プール室	・天井高さを6m以上とする。 ・プールの内法は、長さ25m、幅8m、最深1.1mとする。 ・プールの内法から有効2m以上のプールサイドを全周に設ける。 ・子供用プール(面積適宜、最深0.5m)を設ける。 ・監視ブース(面積適宜)を設ける。	約500m ²	
	見学者スペース	・プールを見下ろす位置に設ける。 ・スペース内にレベル差を設け、プールが見やすいよう配慮する。	50m ² 以上	
	更衣室	・屋内プール室へ直接行き来できるようにする。 ・男性用、女性用を各1室(約120㎡/1室)設ける。 ・ロッカー、シャワーブース、洗面台、便所を設けるが、レイアウトはしなくてよい。	計約240m ²	
	スタッフルーム	・プールに隣接して設ける。	約20m ²	
	採暖室	・プールに隣接して設ける。	適宜	
	ダンスルーム	・無柱空間とし、ダンスやエアロビクス等に利用する。	約200m ²	
	ヨガルーム	・ヨガや静かめなダンス等に利用する。	約100m ²	
	ラウンジ	・休憩用として設ける。	約50m ²	
	講師控室	・ダンスルームと同じ階に設ける。	適宜	
	キッズ部門	キッズトレニングルーム	・乳幼児対象のスポーツ関連室として設ける。 ・子供更衣室、子供便所を設ける。 ・レイアウトは特に描かなくてよい。	約200m ²
キッズスタッフ室		・キッズトレニングルームに直接アクセスできる。 ・一時託児室との動線に配慮する。	約50m ²	
一時託児室		・一時預かりを行えるよう設ける。	約20m ²	
共用部門/他		エントランスホール	・風除室を設ける。 ・3層の吹抜け(約50m ²)を設ける。	適宜
共用部門/他	レストラン	・外部からも直接出入りできるものとする。 ・50名程度が利用できるものとし、厨房を設ける。	約150m ²	
	事務室	・エントランスホールに面して案内カウンターを設ける。 ・10人程度の事務スペースを設ける。 ・エントランスホールに向かいチケット自販機を設ける。	約60m ²	
	医務室	・健康相談なども行う。	約20m ²	
	会議室	・スタッフ会議用に設ける。 ・10人以上が利用可能とする。	適宜	
	循環ろ過室	・プールと同一階もしくは下階に設ける。 ・プールの温度を保ちつつ、ろ過する機器を設ける。	約100m ²	
	空調機械室	・単一ダクト方式の空調機器を設ける。	約150m ²	
	その他設備スペース	・その他、採用した設備計画に応じて計画する。	適宜	
	・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. 屋外施設等

- 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として2台分、管理・サービス用として2台分を設ける。その他は近傍にある駐車場を利用する。
- 駐輪場は、平面駐輪とし、15台分以上(2.0m x 0.5m)を設ける。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 敷地の周辺環境に配慮して計画する。
 - バリアフリー、省エネルギー、セキュリティ等に配慮して計画する。
 - 各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。
 - パッシブデザインを積極的に取り入れた計画とする。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるとともに、経済性に配慮して計画する。
 - 構造種別に応じて架構形式及びスパン割りを適切に計画するとともに、適切な断面寸法の部材を配置する。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
 - プールを2階もしくは3階に設ける際はプールの荷重に十分配慮する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備は単一ダクト方式とする。
 - 給排水衛生設備、電気設備、昇降機設備等を適切に計画する。

II. 要求図書

答案用紙Iの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ.室名等 ハ.設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ニ.設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ホ.断面図の切断位置 ヘ.要求室の床面積 ト.要求室で特記されている各レイアウト及び仕器等
(2)2階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口、敷地への出入口 ロ.駐車場(台数及び出入口を明示する。) ハ.駐輪場(台数を明示する。) ニ.通路、植栽等
(3)3階平面図 1/200	③ 2階平面図及び3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離、及び重複区間の距離
(3)断面図 1/200	① 切断位置は、温水プール断面及び見学者スペースを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、基礎部分を除き、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。 ⑤ 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の範囲及び防火設備を記入する。

2. 面積表(答案用紙Iに記入)

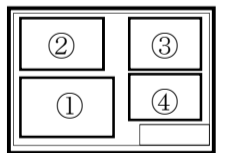
- 地上1~3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率及びその計算式についても記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙IIに記入)

建築計画、構造計画、設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
・要点についてはこの課題では省略します。

4. 図面レイアウト(本試験では解答用紙Iに記載)

- 配置図兼1階平面図 ②2階平面図 ③3階平面図
- 断面図・面積表



■ 添削について

添削希望者は、図面、要点、エスキース・分析表を同封して下記住所までお送り下さい。PDFでの送付も受け付けます。切は8月6日(月)消印有効。遅れても必ず添削しますが、ペース配分の目標としてください。添削は約1週間程度でご返却します。添削費用は解説資料共々5,000円です。郵便小為替でご同封ください。解説資料には、本年度のポイントをまとめています。
〒554-0012 大阪市此花区西九条2-7-8-3F 製図試験.com 事務局
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を4つ折りして角2号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。



試験場	受験番号	氏名
	□□□□□□□□□□	